

『消防設備士第6類 令和5年版』 に関するお詫びと訂正のご案内

『消防設備士第6類 令和5年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

よろしくお願い申し上げます。

初 版

P137 ※赤字を訂正 更新：[2023.8.28]	誤	【4】 正解3 (略) 4. 引張強さは、材料に引張荷重を加えたとき、材料が破断する際の応力をいう。
	正	【4】 正解3 (略) 4. 引張強さは、材料に引張荷重を加えたとき、材料が破断しないで耐えられる最大の応力をいう。
P200 ※赤字を訂正 更新：[2023.4.21]	誤	【4】 消火器に使用する消火薬剤について、正しいものは次のうちどれか。 <input type="checkbox"/> 1. 化学泡消火薬剤は、外筒用薬剤と中筒用薬剤の両方が反応し、窒素を含んだ多量の泡を生成させ使用する。 (略)
	正	【4】 消火器に使用する消火薬剤について、正しいものは次のうちどれか。 <input type="checkbox"/> 1. 化学泡消火薬剤は、外筒用薬剤と内筒用薬剤の両方が反応し、窒素を含んだ多量の泡を生成させ使用する。 (略)
P201 ※赤字を訂正 更新：[2023.4.21]	誤	【4】 正解3 1. 化学泡消火薬剤は、外筒用薬剤と中筒用薬剤を混合させると化学反応により二酸化炭素を含んだ大量の泡を生成する。 (略)
	正	【4】 正解3 1. 化学泡消火薬剤は、外筒用薬剤と内筒用薬剤を混合させると化学反応により二酸化炭素を含んだ大量の泡を生成する。 (略)

初 版・二 刷

P137 ※赤字を訂正 更新：[2023.8.28]	誤	【4】 正解3 (略) 4. 引張強さは、材料に引張荷重を加えたとき、材料が破断する際の応力をいう。
	正	【4】 正解3 (略) 4. 引張強さは、材料に引張荷重を加えたとき、材料が破断しないで耐えられる最大の応力をいう。